

2019年2月20日

各位

株式会社ゲオホールディングス

ゲオ協賛「第17回 ゲオ杯親善交流少年野球大会」が開幕

ゲオグループは2003年より大会に協賛し青少年を応援

株式会社ゲオホールディングス（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：遠藤結蔵）が協賛する「第17回 ゲオ杯親善交流少年野球大会」が2019年2月17日に開会されました。

「ゲオ杯親善交流少年野球大会」は、愛知県内で少年野球大会の企画・運営を行う連盟であるジュニアベースボールリーグ愛知（JBLA）の主催により2003年に始まりました。本大会は「少年野球チームの相互の親睦を図り、会員全員が参加できる大会」を目的に開催されており、約3か月間をかけて、愛知県内の約70会場で行われ勝敗を決します。年一回開催しており、今年で17回目の開催となります。当社は社会貢献活動の一環として、「青少年の健全な育成」「青少年の体力・技術の向上」「少年野球の発展」を目的に、2003年の開始当初より本大会に協賛しています。

2019年2月17日には、愛知県のパロマ瑞穂球場にて「第17回 ゲオ杯親善交流少年野球大会」の開会式が行われました。開会式では、墨井勇 JBLA 実行委員長の開会宣言や参加チームの代表者による選手宣誓に続き、ポッカレモン消防音楽隊（名古屋市消防音楽隊）による演奏も行われました。また、元中日ドラゴンズの選手で、現中日ドラゴンズジュニアチームを率いる湊川 誠隆（みなとがわ まさたか）監督が2019年度のドラゴンズジュニアチーム結成に向け、熱い視線で開幕戦を見守りました。

開会式後に1回戦がスタートし、今年の大会の幕開けとなりました。



<開会式の様子>



<ポッカレモン消防音楽隊>

今年の大会は新6年生チーム116、新5年生チーム80、新4年生チーム28の計224チームがエントリーしています。224チームが学年別（※1）に3つのリーグに分かれて、5月（※2）までの期間、優勝を目指して対戦します。

ゲオグループは今後も、次世代を担う子どもたちの頑張りや夢をサポートし続けていきます。

※1：別学年のリーグにも出場可能です

※2：会期は天候などによって変更になる可能性があります

以上

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社ゲオホールディングス 広報部広報課 担当：芝田
TEL：03-5911-5784 E-mail：geo-pr@geonet.co.jp